

Access 小粒な生産管理ソリューション T'sFactory — 進捗モニター —



✔ 予定/実績/差異をパソコン端末表示！

✔ 生産の進み遅れをリアルタイムで確認！

✔ 各端末の表示内容を集中モニタリング！

✔ 予定/実績の推移をグラフで表示！

本アプリケーションは、生産現場のラインや工程のその時点時点の「予定台数」と、作業者や電気信号から入力された「実績台数」、および予定/実績の「差異台数」をディスプレイ上に表示する、「パソコン版の生産進捗表示器」です。

リアルタイムに進捗状況を表示することで、生産の進み遅れを簡単に把握できるとともに、作業効率に対する認識を高め、見える現場管理を行うことができます。

特徴

■ 生産進捗状況のモニター表示

- ラインや設備ごとに現時点の予定台数・実績台数・差異台数を全画面表示します。通常のディスプレイに代えて大型のモニター等を接続することによって、より広範囲からその情報を見られるようにすることもできます。
- 端末は6台まで使用可能です。それぞれの端末ごとにラインや設備名、タクトタイム、稼働時間帯などを設定することができます。

■ 予定台数のカウントアップ

- 予定台数はあらかじめ設定されたタクトタイムによって自動的にカウントアップされます。またその日の最終的な目標台数を固定値として表示する方式にも対応しています。
- 予定台数のカウントアップは、あらかじめ設定された稼働時間帯以外（休憩時間）には自動的に一時停止します。

■ 実績データの入力や差異の表示

- 実績台数については、パソコンのキーボードからの Enter キー入力の他、USB タイプのフットペダルスイッチによる Enter キー信号の送付、さらにはカスタマイズすることによって、USB リリースイッチ、USB インタフェースデジタル I/O など、さまざまな方法で自動的にカウントアップさせることもできます（※カスタマイズはソース公開版の購入および Access の知識、また機械等からの信号を取得するハードウェア作製が別途必要）。

- ▶ 実績台数のカウントでは束数の設定も可能です。たとえば1つのカウントで実績台数を10台アップさせるといった使い方もできます。
- ▶ 差異台数は予定より進んでいるときは緑、遅れているときは赤で表示されますので、直感的に進み遅れを知ることができます。

■ 事務所等での進捗把握

- ▶ 各端末の現時点の進捗状況の表示内容は、事務所等に配置された同じネットワーク上のパソコンを使うことで、集中モニタリングすることができます。
- ▶ 同様に、各端末の時系列（当日のみ）での予定/実績の推移のグラフを事務所等で集中的にチェックすることもできます。

■ Accessの基本機能の活用

- ▶ 本アプリケーションは、Microsoft Accessで作られています。Accessがあらかじめ持っているさまざまなデータ操作機能（コピー、貼り付け、検索、置換、並べ替え、フィルタなど）をそのまま利用することができます。
- ▶ データベース容量として、最大2GBまでの情報を1つのファイルとして扱うことができます。その範囲であれば、登録件数は無制限、また運用方法やカスタマイズによってはファイルサイズも事実上無制限です。

■ ネットワークによるデータ共有

- ▶ データベースをネットワーク上の複数のパソコンから共有することができます（※パソコン台数分のライセンスが必要）。
- ▶ 保存されたデータは、他のT'sFactoryシリーズのアプリケーションと共有することができます。

■ アプリケーションのカスタマイズ

- ▶ Accessの知識があれば、画面や帳票、機能を自由にカスタマイズすることが可能です（※ソース公開版の購入が必要）。

画面/帳票一覧

画面	メインメニュー、進捗モニター、台数変更、進捗集中モニター、進捗推移グラフ、端末設定、端末マスタ、リンク先設定
----	--

動作環境

- ✓ 本アプリケーションを動作させるためには、Microsoft® Access 2010 32bit版（SP1以上）または2013 32bit版 Microsoft® Access2010（もしくは無償のランタイム版）が必要です。
- ✓ 本アプリケーションの既定の実績カウントアップ方法は、パソコンに接続されたキーボードからのEnterキーの押し下げによるものですので実際の現場作業ではキーボードの操作は適していません。USBタイプのフットペダルスイッチを別途用意してEnterキー信号の送出をさせるなどの対応をお奨めします。
- ✓ さらに作業者にその動作もさせたくないといった場合には、ラインの機械等から電氣的に信号を自動的に取得させるといった各種のインタフェースを独自に作成し、本アプリケーションをカスタマイズする必要があります。（※ソース公開版のカスタマイズ、機械等からの信号を取得するハードウェア作製が別途必要）。



その他の詳細や画面例、「体験版」のダウンロード、価格については下記ホームページをご覧ください

http://factory.tsware.jp/tfctmon_v3/